

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	キリンサイ養殖事業によって副収入を得られるようになった零細漁民が、キリンサイの特性を生かし新たな利用方法を身に着けることによってより健康的で環境に優しい生活スタイルを獲得する。
(2) 事業の必要性(背景)	<p>西ヌサ・トゥンガラ州ドンブ県は、キリンサイの養殖拡大、トウモロコシの増産、養牛業の促進を優先課題に掲げている。しかし、十年前頃から異常気象が原因で、海藻養殖全般に多大の被害が出ていた。そこで日本NGO連携無償資金協力による本会の「零細漁民のための持続可能な生活向上プログラム(第3期)」がこの2年間実施され、懸案であった急激な塩分濃度の低下や海水温度の低下によって発生する感染症アイスアイス(病気)への対応が出来るようになった。県漁業局もこのパイロット事業を評価し、養殖事業は漁民たちの手で継続的に自立可能となった。ジョコ大統領は、13,466からなる島々に必要なインフラ整備、伝統的に冷遇されてきた漁民の地位向上を網羅する海洋国家体制の確立を最優先課題としている。この新体制の下、広大な沿岸部の海を有効利用する海藻養殖事業は、正に国策に則している。しかし、このような可能性を秘めた養殖事業地ドンブ県ケンボ郡の海岸地域トロカロ村(人口約830人、約170世帯)並びにソロ村(人口約900人、約180世帯)の住民の衛生・環境保全に関する理解は非常に低く、生活環境の悪化は顕著である。</p> <p>2005年以来、嘗て海藻(ホンダワラ)の採集と漁で生計を立てていた零細漁民は、温暖化や環境破壊が起す大洪水や高波で漁獲高を落とし、漁から山間部に於ける違法伐採に移行しはじめている。また、ドンブ県全土に一般ゴミの回収システムがないため、海岸地域では漂着したプラスチック類の浮遊物が浜を覆い、漁獲高の低下のみならず、漁民の健康へも影響が出始めている。県保健局は、こうした状況の下、「トイレ普及プログラム(ODF)」などを推進しているが、実際、海岸地域ではほとんど進まず、トイレ普及率は10%にも満たない。こうした環境の下、大家族制を基本とする漁村地域での全家族メンバーの食生活、安全な飲料水の確保、子どもの養育や老人の世話、疾病への対応を含めた保健衛生の全ては、現実的に女性の手に委ねられている。そのため、保健衛生や環境改善に興味を示し、また、諸問題の解決に向けて問題意識のある女性たちを中核とした生活の見直し、特に住環境の改善や健康管理に関する意識改革を施し、自力で生活の質的向上を目指す動き(ムーブメント)を起すことができれば、海洋国家インドネシアにとって、貴重且つ建設的な第一歩であり、「持続可能な開発目標(SDGs)の目標(ゴール)5、8、13、14に沿った試みである。</p>
(3) 事業内容	零細漁民の中で、特に問題意識をもった女性を各村15人ずつ集め、第1グループを組織化する。日本からは、バイオテクノロジーや自然療法を熟知した健康管理の専門家、「命のスープ」で有名な料理家などの協力を得て、キリンサイを活用しながら、環境に優しく、且つ健康的な食生活、手頃な衛生グッズなどを自力で生産できるようにする。キリンサイから抽出されるカラギーナン(粘質多糖類)は、ゲル化性があり、ハムやゼリー等の食品加工は元より、増粘性を利用してインクジェットプリンター用のインク生産、また、清澄剤としてビールや化粧水の透明化などにも使われている。最近、総合的免疫力を高めると

して注目されているフコイダン有することも分かり、日常漁民が使える皮膚病・肌荒れに効果的な石鹸やローション、クリーム、さらに将来、シロップ剤、歯磨、シャンプーなどに活用する技術を移転する。キリンサイ養殖に従事している家族、また、まだ従事していない零細漁民の生産意欲（モチベーション）を上げ、ケンゴ郡全体のキリンサイ生産を拡大することに繋がる。さらに、女性グループを中核として、子どもたちや若い世代を対象とした栄養と食、健康維持と環境保全に配慮した新しい生活スタイルを提示することになる。本事業は、漁業局、保健局、環境局と協力しながら、3期に分け段階的に進めて行く。トロカロ村並びにソロ村の合計約 350 世帯、人口約 2,000 人全員を直接受益者として、地域全体の生活向上のために以下の活動を実施する。本事業に真剣に取り組もうとしている女性グループを各村に先ず 1 グループずつ組織し、将来、本事業のリーダーとして自立運営するために必要な技術、組織作り、養殖事業の拡大に関する養成などを行う。特に、キリンサイを活用した免疫力を高め、保存の効く様々な食品や直射日光や高い塩分、また、虫刺症などに有効な石鹸・ローションなどの加工・生産に関する本部専門家、並びに地域の経験者等と試験・実験を進めキリンサイ利用の多様化と事業の継続性、自立発展性を強化する。

(ア) 2村の女性第1グループへのインプット（意識化）と組織化
本部スタッフ並びに現地の各スタッフにより、国際スタンダードとしてのジェンダーバランスを踏まえた女性の社会貢献と組織の運営・評価の手法について指導する。

(イ) 女性グループのための作業場の確保
県ないし郡から提供される放置された建物を補修し、女性グループの作業場並びに集会室となるよう整備する。

(ウ) キリンサイを活用した食品生産に関するセミナーの実施
クルブック（エビセンに類似）など、既にインドネシア国内や東南アジア諸国でさまざまな食品を調査・研究する。その上で、豊かな経験をもつ本部専門家とより現地のニーズに対応した加工食品の可能性を提案し、女性グループにその手法を伝授する。

(エ) キリンサイを活用した石鹸やローションの生産に関するセミナーの実施

豊かな経験をもつ本部専門家が、キリンサイと現地で入手可能な材料を活用した加工方法を研究し、女性グループにその手法を伝授する。

(オ) 女性グループの定期ミーティングの実施
毎月2回、スタッフと女性たちが集まり、養殖に従事している男性リーダーと共に、本事業に関する情報交換、また、養殖事業に関する課題・改善策等について協議し、養殖事業の運営・管理に関して自立・発展性強化に努めると共に、専門家によるアップグレードセミナーを実施する。

(カ) 女性グループの新たな組織化
第1女性グループの活動に影響され新たなグループ設立を望む場合、また、他の加工プロジェクトなどを試みる希望が出た時に、臨機応変に新グループを現地スタッフと共に構築する。

(キ) 女性ネット設立支援
ケンブ郡を初めとして、ドンブ県内の海岸地帯の零細漁民女性ネット

	<p>ワークを構築し、総合的な環境と健康を考慮した生活スタイルを周辺地域に拡大させる。(3年計画)</p> <p>(ク) 近隣のキリンサイ養殖従事者・生産者間の情報交換の促進 養殖従事者同士が知り合い、情報交換ができるよう島内の養殖場を訪問し情報交換等の交流支援を行う。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<p>キリンサイ養殖事業が12ヶ月サイクルで継続できるようになった今、ドンブ県全体の主要地場産業のひとつになる可能性が高い。さらに、キリンサイを加工することで付加価値を付け、その活用範囲を広げて行けば、ドンブ県を発祥地とし13,466の島から成る零細漁村地域に、新たな収入源を創出し、海洋国家沿岸部に新しい生活スタイルを提示するパイロットプランとなる可能性は高い。</p>
<p>(5) 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>今期 ELWIS (I) の事業終了までに、以下の成果達成を目指す。</p> <p>成果1: 2村の女性第1グループが、養成され組織化される。</p> <p>指標 1-1: 女性グループを発足させる。(定期ミーティング実施記録)</p> <p>指標 1-2: 各グループ15人前後の女性が、継続して保健衛生・環境保護について学び意見を交換することが出来る。(事業実施記録)</p> <p>指標 1-3: 女性が保健衛生・環境保護の知識を得、母子教育や環境改善活動に参加し、罹患率やゴミの投棄を下げる事が出来る。(環境調査)</p> <p>成果 2: 女性グループを構成するメンバーのキリンサイ活用法に関する種々の能力と知識が向上する。</p> <p>指標 2-1: 2グループの女性の50%が、クルブックの生産を習得する。(セミナーの記録・生産台帳)</p> <p>指標 2-2: 2グループの女性の50%が、クルブック以外の食品加工の技術を習得する。(セミナーの記録)</p> <p>指標 2-3: 2グループの女性の50%が、石鹼とローション生産のための基礎的知識を習得する。(セミナーの記録)</p> <p>指標 2-4: 2グループの女性の大半が、石鹼とローションを生産できるようになる。(セミナーの記録・生産台帳)</p> <p>成果 3: 直接受益者のほぼ半数に当る女性に就労機会を与える。</p> <p>指標 3-1: 現金収入のない女性が、キリンサイ養殖事業に関心をもち、参加出来る。(参加者名簿)</p> <p>指標 3-2: 女性が副収入を得ることで、ジェンダーバランスを改善し、家庭内・村内での居場所を確保することが出来る。(アンケート調査)</p> <p>指標 3-3: 一世帯当たりの月収を約800,000ルピア(約7,500円)増額することが出来る。(家庭訪問による聞き取り・アンケート調査)</p> <p>成果 4: キリンサイ事業を生業とする零細漁民が増加する。</p> <p>指標 4-1: 350世帯の女性の中から、キリンサイの加工並びに養殖に関するセミナー等への参加者が増える。(種々セミナーの参加者名簿)</p> <p>指標 4-2: キリンサイ養殖事業に従事する男性グループと保健衛生・環境保護に取り組む女性グループが定期的に会合をもち、意見交換出来るようになる。(参加者名簿・会議議事録)</p> <p>指標 4-3: ドンブ県内外に、キリンサイ養殖事業を零細漁村の村興し並びに新たな生活スタイルを提示するパイロットプランとして紹介出来る。(事例数の記録・会議議事録)</p> <p>指標 4-4: キリンサイ養殖事業従事者並びに女性グループのネットワークが構築される。(事例数の記録・会議議事録・訪問の記録)</p>